

上尾市立東町小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、心豊かなたくましい東っこ
～進んで学びよく考える子、きまりを守り助け合う子、
最後までがんばる子、明るい元気な子～

学校課題研究主題

「主体的に課題に取り組み、表現力豊かに伝え合う児童の育成」
～分かった・伝えたいと思える授業改善を目指して～

学力・学習状況調査の結果

R6 全国学力・学習状況調査	R6 埼玉県学力・学習状況調査	R5 上尾市立小・中学校学力調査
<ul style="list-style-type: none"> ・国語の正答率は全国と比べて3.7%低い。算数は1.4%低い。 ・国語では、「話すこと・聞くこと」が全国平均より2.5%高く、基礎学力の定着が見られる。しかし、登場人物の心情を想像したり、相互関係を読み取ったりすることに課題が見られる。 ・算数では、知識・技能の定着が不十分であり、「数と計算」の問題を読み取り立式する場面に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生のレベルは国語では昨年度と同じ、算数では、-1ポイントであった。5年生では国語、算数ともに1ポイントの上昇が見られた。 ・国語と算数の教科で見ると、算数よりも国語のレベルの方が高くなっている。 ・学力の伸びの様子を見ると、上位層下位層は昨年度より伸びているが、中位層の伸びが見られず、下がっている傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語においてはどの学年も全国平均を下回っている。また、2・4年生では国語・算数ともに全国平均を下回っている。 ・観点別で見ると主体的に学習に取り組む態度が6年の算数以外、全国平均を下回っている。 ・基礎学力の定着は全国平均と比べ、6年算数以外、目標値に届かず、そのためか、活用についてはそれ以上の課題が見られる。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
◎総合的な場面で活用できる知識・技能	◎自分の意見や考えに、根拠や理由をもって判断したり、表現したりする力	◎学習に真剣に取り組む、最後まであきらめず課題に取り組もうとする態度

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな言語能力を育成するため、読書活動を推進する。関連読書や意味調べなどを通して語彙力を高める。 ○既習事項の知識を使いながら解決する課題の設定をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○順序立てて課題を理解できるよう、授業の流れが明確化された学習過程を構築する。 ○様々な自力解決の方法を提示し、児童自身が選択して、自分の考えに根拠をもって表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な友達と関わりながら学習を進め、自己や他者の意見を尊重し、自己有用感を高める。 ○最後まで、あきらめず課題に向き合えるよう、支援の手立てを用意し、自分の考えをもてる授業を展開する。

本校の特色ある取組

- 児童同士の学び合いの場面でのICT端末の活用。
- 高学年での理科専科教員の配置。
- 4年生以上での一部教科担任制の実施。
- 総合的な学習の時間での上尾特別支援学校との連携。

家庭教育との連携

- 学習の基礎基本となる音読、漢字、計算の学習を継続的に実施する。
- 2年生以上でデジタルドリルを導入し家庭学習の充実を図る。